

# 地域を知ろう(23)

## 民話・伝説

### No.3 田中稲荷の松

#### 田中稲荷の松

高円寺南一丁目  
三十番、大久保通  
り沿いに田中稲荷  
はあります。

田んぼの真中に  
鎮在していたので  
その名が付けられ  
たとのことですが、  
今では想像もでき  
ませんね。

現在社殿も小ぎ  
れいに建っています  
すが何ととっても  
あの背高のつぼの  
立派な松。

二月最初の午の  
日を初午といいま  
すが、昔はこの日、  
村中の家からお米  
を五合(〇・七キロ)  
づつ集めて、この  
稲荷の境内で赤飯  
を炊き、おむすび  
を作って神様に供  
え、豊作をお祈り  
したものです。こ  
のあと村人はおむ  
すびを持ち帰り、  
鶏に食べさせると  
狐に盗まれないと  
いうことが子ども  
に伝わり、子ども  
たちは鶏にやらず  
に自分たちが食べ  
てくれたとも親に  
わけています。

松にも面白い話  
があります。丑の  
刻参りというもの

で、真夜中に、人  
に見られず嫌いな憎  
む相手を作り、呪い  
ながらその人形に  
釘を打ち込むので  
す。呪うかかると  
難が、口の中、呪  
うに、唱えながら、  
文を唱えながら、  
密かに人形を松の  
幹に付け釘を打ち  
付けると、打ち  
付けただけで、気味  
像の悪い光景では  
ありませんか。

大正の始めの頃  
まで、こんな釘を  
打ち込まれた松の  
姿が、ありましたが、  
この松もとうとう  
枯れてしまいました。

今、大久保通り  
から、私共を見  
ろして、二世松  
松は二世松です。  
もう、幹に釘を  
込ませることはあ  
りません。排気が  
りを車に吸わせ、  
を吸わされ、少し  
気の毒な感じがし  
ます。



丑の刻参りの松  
この頃の二世松



2013年12月現在「二世松」は  
このような姿に！



2021年11月現在  
「三世松」は育つでしょうか？